



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社トランスジェニック
コード番号 2342 URL <https://www.transgenic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 健司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理財務部長 (氏名) 渡部 一夫

TEL 092-288-8470

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画(録画)配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,377	15.1	88	34.3	94	53.6	48	11.7
2023年3月期第2四半期	5,542	17.3	134	91.6	204	86.7	54	94.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 70百万円 (6.0%) 2023年3月期第2四半期 66百万円 (93.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	2.87	
2023年3月期第2四半期	3.26	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	10,482	6,119	57.4	356.43
2023年3月期	10,672	6,122	56.4	356.98

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 6,021百万円 2023年3月期 6,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		5.00	5.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	9.4	300		250	25.5	150		8.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	16,999,141 株	2023年3月期	16,999,141 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	105,422 株	2023年3月期	141,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	16,869,129 株	2023年3月期2Q	16,829,960 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績見通しのご利用に当たっては、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和により、個人消費の緩やかな回復基調が見られましたが、円安の進行やエネルギー・原材料価格の高騰が継続しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、創薬支援事業は、株式会社新薬リサーチセンター（以下、「新薬リサーチセンター」といいます。）の中央研究所（北海道恵庭市）の非臨床試験受託事業について、株式会社安評センター（以下、「安評センター」といいます。）へ人員を再配置し、集約を行うことを2023年4月に決定いたしました。この決定に伴い、中央研究所の主要施設である動物試験施設については既受注試験終了後に計画通り稼働を停止した結果、新薬リサーチセンターの売上高は前年同期比で減少いたしました。一方、安評センターにおいては、新薬リサーチセンターとの顧客網の共有化や一体的な営業により、受託試験の案件数は増えてきましたが、まだ仕掛中の試験が多いことから当第2四半期連結累計期間の売上高に対する効果は限定的となりました。また、受託案件に占める海外案件比率が増加し、受託試験の規模及び実施期間につきましても、より大型化・長期化した結果、当第2四半期末の受注残は前年同期比で増加したものの、当下半期以降完了予定の試験が多く、売上高は前年同期比で減少いたしました。

投資・コンサルティング事業は、株式会社TGMにおいて大型受注案件が完了したほか、その他の子会社においても価格転嫁及び営業力強化を進めたことで、前年同期比で増収・増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、主として投資・コンサルティング事業の増収により6,377,299千円（前年同期比15.1%増）となりました。しかし、営業利益につきましては88,523千円（前年同期比34.3%減）となり、経常利益につきましても、為替差益等の営業外収益41,820千円及び支払利息等の営業外費用35,552千円を計上した結果、94,791千円（前年同期比53.6%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、「法人税、住民税及び事業税」32,720千円、法人税等調整額19,171千円及び非支配株主に帰属する四半期純損失6,272千円を計上した結果、48,464千円（前年同期比11.7%減）となりました。

① 創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、非臨床試験、臨床試験まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、上記のとおり、新薬リサーチセンターの中央研究所の非臨床試験受託事業を安評センターへ集約する過程において、新薬リサーチセンターの売上高が前年同期比で減少いたしました。また、安評センターは、その集約過程における効果が限定的となり、当第2四半期末の受注残は前年同期比で増加したものの、当下半期以降完了予定の試験が多く、売上高は前年同期比で減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は981,447千円（前年同期比22.6%減）、営業損益につきましては26,609千円の損失（前年同期は153,476千円の利益）となりました。

② 投資・コンサルティング事業

当事業は、M&Aによる新規事業の推進や事業承継等に係る助言・支援サービスを行っております。

当第2四半期連結累計期間は、株式会社TGMにおいて大型受注案件が完了したほか、その他の子会社においても価格転嫁及び営業力強化を進めたことで売上高が伸長し、セグメント利益も前年同期比で大幅に増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は5,399,031千円（前年同期比26.3%増）となり、営業損益につきましても223,077千円の利益（前年同期比142.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は7,267,805千円となり、前連結会計年度末に比べ294,566千円減少いたしました。これは主に、商品及び製品が426,870千円、受取手形、売掛金及び契約資産が172,520千円、仕掛品が71,028千円それぞれ増加した一方、現金及び預金が533,436千円、その他流動資産が425,461千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産は3,214,672千円となり、前連結会計年度末に比べ104,113千円増加いたしました。これは主に、試験設備等の改修等により有形固定資産が105,363千円、投資有価証券の時価評価等により投資その他の資産が19,566千円それぞれ増加した一方、のれんの償却等で無形固定資産が20,816千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,818,378千円となり、前連結会計年度末に比べ74,386千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が320,000千円、買掛金が234,518千円それぞれ増加した一方、前受金が350,517千円、その他流動負債が142,980千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は1,544,353千円となり前連結会計年度末に比べ262,066千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が242,631千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,119,746千円となり、前連結会計年度末に比べ2,773千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を48,464千円計上し、84,288千円の剰余金の配当を行ったほか、保有有価証券の時価評価によりその他有価証券評価差額金が21,549千円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(単位：千円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△695,814	△365,546	330,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,814	△129,107	471,706
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,920	△46,774	△111,694
フリー・キャッシュ・フロー(注)	△1,296,628	△494,654	801,973
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,394,665	2,920,760	△473,904

(注) 営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは365,546千円の支出となりました。これは、税金等調整前四半期純利益94,083千円に必要な調整項目を加減して算定しております。その主な加算要因は、仕入債務の増加額234,518千円、非資金費用である減価償却費の計上額47,348千円及び法人税等の還付額234,250千円であります。一方、主な減算要因は、売上債権の増加額172,520千円、棚卸資産の増加額492,186千円、前受金の減少額350,517千円及び法人税等の支払額55,566千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは129,107千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出109,795千円により資金が減少したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは46,774千円の支出となりました。これは主に、短期借入金の増加320,000千円により資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出260,145千円及び配当金の支払額82,924千円により資金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの創薬支援事業セグメントの売上高については季節的変動が著しく、下半期（特に第4四半期）に売上が集中する傾向にあります。なお、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,377,299千円（2024年3月期通期の連結業績予想売上高の51.0%）であり、概ね予測通り推移しております。

このため、2024年3月期の連結業績予測につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,459,447	2,926,010
受取手形、売掛金及び契約資産	1,083,456	1,255,976
商品及び製品	1,353,059	1,779,930
仕掛品	745,490	816,518
原材料及び貯蔵品	139,723	134,011
その他	788,761	363,300
貸倒引当金	△7,566	△7,942
流動資産合計	7,562,372	7,267,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	980,931	1,032,317
土地	905,846	905,846
その他(純額)	104,883	158,861
有形固定資産合計	1,991,661	2,097,025
無形固定資産		
のれん	557,250	534,769
その他	10,422	12,087
無形固定資産合計	567,673	546,856
投資その他の資産		
投資有価証券	105,502	135,750
その他	469,281	458,599
貸倒引当金	△23,559	△23,559
投資その他の資産合計	551,223	570,790
固定資産合計	3,110,559	3,214,672
資産合計	10,672,931	10,482,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	408,742	643,260
未払金	284,024	299,617
短期借入金	170,000	490,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	478,032	460,518
未払法人税等	57,378	27,741
前受金	969,958	619,441
賞与引当金	23,388	68,312
受注損失引当金	63	63
その他	338,403	195,423
流動負債合計	2,743,992	2,818,378
固定負債		
社債	137,000	130,000
長期借入金	1,569,482	1,326,851
長期末払金	27,562	19,494
退職給付に係る負債	40,892	36,998
その他	31,482	31,008
固定負債合計	1,806,419	1,544,353
負債合計	4,550,412	4,362,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	3,869,990	3,861,314
利益剰余金	2,147,300	2,111,476
自己株式	△76,915	△57,331
株主資本合計	5,990,375	5,965,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,064	30,614
為替換算調整勘定	18,401	25,266
その他の包括利益累計額合計	27,465	55,881
新株予約権	200	200
非支配株主持分	104,478	98,205
純資産合計	6,122,519	6,119,746
負債純資産合計	10,672,931	10,482,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,542,343	6,377,299
売上原価	4,430,836	5,212,219
売上総利益	1,111,507	1,165,079
販売費及び一般管理費	976,732	1,076,556
営業利益	134,775	88,523
営業外収益		
受取利息	378	51
為替差益	5,816	34,216
受取保険金	2,604	3,061
保険解約返戻金	155,376	—
その他	7,900	4,490
営業外収益合計	172,076	41,820
営業外費用		
支払利息	13,073	24,297
買収関連費用	80,000	—
その他	9,469	11,254
営業外費用合計	102,543	35,552
経常利益	204,309	94,791
特別損失		
減損損失	47,756	—
固定資産除却損	—	708
特別損失合計	47,756	708
税金等調整前四半期純利益	156,552	94,083
法人税、住民税及び事業税	8,164	32,720
法人税等調整額	93,864	19,171
法人税等合計	102,028	51,891
四半期純利益	54,523	42,192
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△367	△6,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,891	48,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	54,523	42,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	747	21,549
為替換算調整勘定	11,339	6,865
その他の包括利益合計	12,087	28,415
四半期包括利益	66,611	70,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,978	76,879
非支配株主に係る四半期包括利益	△367	△6,272

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	156,552	94,083
減価償却費	58,578	47,348
減損損失	47,756	—
のれん償却額	29,277	22,281
貸倒引当金の増減額(△は減少)	106	375
賞与引当金の増減額(△は減少)	30,483	44,923
受取利息及び受取配当金	△378	△147
保険解約返戻金	△155,376	—
支払利息	13,073	24,297
売上債権の増減額(△は増加)	63,966	△172,520
棚卸資産の増減額(△は増加)	△533,459	△492,186
仕入債務の増減額(△は減少)	181,969	234,518
未払金の増減額(△は減少)	△156,848	△28,040
前受金の増減額(△は減少)	△175,307	△350,517
その他	37,783	55,505
小計	△401,821	△520,077
利息及び配当金の受取額	188	145
利息の支払額	△13,063	△24,297
法人税等の支払額	△291,364	△55,566
法人税等の還付額	10,247	234,250
営業活動によるキャッシュ・フロー	△695,814	△365,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,000	△1,500
有価証券の償還による収入	5,951	—
有形固定資産の取得による支出	△152,271	△109,795
出資金の払込による支出	—	△8,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△692,193	—
貸付金の回収による収入	94,733	—
保険積立金の解約による収入	155,376	—
その他	△3,410	△9,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△600,814	△129,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
短期借入金の増減額(△は減少)	400,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△212,919	△260,145
リース債務の返済による支出	△8,560	△8,636
長期未払金の返済による支出	△8,067	△8,067
配当金の支払額	△98,531	△82,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,920	△46,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,852	2,742
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,223,856	△538,686
現金及び現金同等物の期首残高	4,618,521	3,459,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,394,665	2,920,760

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	1,265,404	4,275,889	5,541,293	1,050	5,542,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000	187	3,187	△3,187	-
計	1,268,404	4,276,076	5,544,481	△2,137	5,542,343
セグメント利益	153,476	92,063	245,539	△110,763	134,775

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,813千円、各報告セグメントに含まれない収入1,050千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

投資・コンサルティング事業セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において47,756千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	創薬支援事業	投資・コンサル ティング事業			
売上高					
外部顧客への売上高	978,447	5,398,402	6,376,849	450	6,377,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,000	628	3,628	△3,628	-
計	981,447	5,399,031	6,380,478	△3,178	6,377,299
セグメント利益又は損失(△)	△26,609	223,077	196,468	△107,944	88,523

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△108,394千円、各報告セグメントに含まれない収入450千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。